

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ようごうしゃ		団体ウェブサイトURL
	株式会社 影向舎		http://www.yougou.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
制作団体所在地	〒 243-0005	最寄り駅(バス停)	小田急線本厚木駅(市立病院前)
	神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号		
電話番号	046-297-0255		
ふりがな 公演団体名	わろうてっぺい かみがたらくごとえいごらくご		団体ウェブサイトURL
	「笑てっ亭」上方落語と英語落語		
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
公演団体所在地	〒 243-0005	最寄り駅(バス停)	小田急線本厚木駅(市立病院前)
	神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号		
制作団体 設立年月	昭和60年3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	㈱影向舎 小池岳士・小池将直 他	制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	吉川啓介
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	小池弘美
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	k.yoshikawa@yougou.co.jp / koten@yougou.co.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》 学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか”このテーマを39年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。 創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客様をバックアップする体制を整えている。 現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年6月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)(令和6年7月・フランスパリ公演)など多方面で公演活動を行っている。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成23年度＝220公演、平成24年度＝240公演、平成25年度＝240公演、平成26年度＝250公演、平成27年度＝250公演、平成28年度＝250公演、平成29年度＝250公演、平成30年度＝250公演、令和元年度＝230公演 令和2年度＝160公演、令和3年度＝240公演、令和4年度＝240公演 令和5年度＝260公演</p> <p>上記は弊社、学校公演の寄席(落語)鑑賞会の実績となります。 ※寄席(落語)分野(学校公演)では、NO.1。業界随一の実績を誇ります。 ※平成21年度～令和5年度「北海道巡回小劇場」に16年度連続で参加。</p>			
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>「笑てっ亭」においての実績は有りませんが、弊社の他作品においての実績に基づき、実施校との事前の打合せの際に、実施上の注意点についてしっかりとヒアリングを行います。その上で、出演者との内容調整、児童・生徒さんの体験参加内容の調整をします。実施校からのご希望に臨機応変に対応いたします。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/VeGwuai_MGQ</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	「笑てっ亭」上方落語と英語落語
-----	-----------------

企画のねらい	<p>「笑い」は世界中、国を問わず、ポジティブなコンテンツです。 「笑てっ亭(わろうてっ亭)」では、素晴らしい日本の「笑いの原点である上方落語を楽しみ、その落語を、「英語で」聞いて笑うことにより、日本の落語の素晴らしさと共に英語(世界)に興味をもっていただくことを目的としています。</p> <p>◎落語を好きになるきっかけになれば 落語は一人で扇子と手ぬぐいだけを使い、色々な登場人物を演じる、日本が世界に誇る伝統芸能です。落語の笑いの中には風情があり、人情があり、「日本に生まれて(暮らしてきて)よかった」と思える瞬間が数多くあります。日本で生活をしている上で、せつかくなので、ぜひ児童・生徒さんにこの素晴らしい芸能を知って、好きになってほしい。このプログラムがそのきっかけになればと思うのです。</p> <p>◎上方落語は笑いのルーツ 辻咄(大道芸)から始まった上方落語と、座敷咄から始まった江戸落語。落語には二つの流れが存在します。とりわけ上方落語は雑踏の中、人目を惹き、目の前の人を笑わせる、値打ちを認めてもらって銭をとる。そのために面白おかしい滑稽が主流となり、おのずと演出も派手になったわけです。「笑いの本場は？」と問われれば誰も「関西」と答えるでしょう。笑いの精神は脈々と受け継がれ、上方落語は遅く今に生きています。</p> <p>◎英語落語とは・・・ 世界中の人たちに「落語という凄い芸能を知らしめたい」「落語で笑わせたい」、そのような思いで上方落語家である桂かい枝は英語落語を始めました。海外だけではなく国内でも演じてみると「なんて斬新！面白い！」「メリハリがあって初めて聞いた落語でもこっちの方が分かり易い！」など思わぬ反響を呼び、学校の芸術鑑賞会としての需要が今、非常に増えています。</p> <p>◎なぜ今、英語落語なのか 英語落語は英語学習の導入部として最適と考え、「英語落語でより身近に英語を感じてもらえれば・・・」そんな思いを込めてプログラムに英語落語を組み込んでいます。言語が異なる人へ何かを伝えること、相手の主張を受け取ること＝「英語を学ぶ」、ということは、人と人とのコミュニケーションを学ぶ手段として有効です。外国人とのコミュニケーションにおいて、感情表現を適切に表すことはとても大事なことです。日本人はそれが苦手だと言われています。落語という芸は、演者が斬を進めるにあたり、様々なキャラクターを演じる必要があります。演じるというのは、台詞に感情をのせること＝感情を表すことです。当企画において、小ばなしを考え、発表することは感情表現を表す練習になります。また、英語落語を鑑賞し、英語で落語を聞き、笑う事ができた時、英語を理解できたという実感を得て、自信に繋がることでしょ。</p> <p>☆「英語落語」への不安と実際の反応 「英語落語」に対して、小学校1年生から理解ができるのか、楽しめるのかというご不安の声がありました。公演を実施した結果としては、むしろ低学年の子どもたちの反応は良く、逆に会場を先導するように笑ってくれておりました。感覚的に英語落語を楽しみ、受け止めてくれたようです。公演後沢山の感想を寄せていただきました。その内のいくつかを抜粋してあります。 ※子供たちから寄せられた実際の感想については、別紙「英語落語・実際の反応」をご参照ください。</p> <p>『笑てっ亭』では、演者自身の演じ方、英語と日本語のバランスの調整や、より直観的に英語へ興味を持ち、楽しむでもらう為のプログラム構成、また舞台装置においてもプロジェクターにて字幕やイラストを投影するなどの工夫を凝らしております。</p>
--------	--

演目概要・演目選択理由	<p>「上方落語」 落語の滑稽な要素を強調するため、全国的には江戸落語に比べ、どちらかというと認識が薄い上方落語にあえて焦点をあてました。</p> <p>「英語落語」 伝統と革新、上方落語の可能性を感じて欲しい。また、グローバル化していく世の中で、世界に発信できる落語を知っていただきたい。そんな思いで構成いたしました。</p> <p>「落語の演目(ネタ)」 寄席などの落語公演で定番とされているネタを選択します。分かりやすく、印象的なものが多いからです。 上方落語:「初天神」子供が主役の斬。小憎らしくも愛らしい金坊と父親とのやり取りを通して浮かんでくるお参りの情景 「平林」子供が主役の斬。感じが読めず、少し抜けている丁稚の定吉が人を訪ねて歩き回る中で、思わず突っ込みたくなる大人が教える漢字の読み方が面白い ※上方落語は上記2つの内、鑑賞学年や雰囲気から判断し、どちらかの斬を演じます。 ※異なる演目の可能性が有ります。</p> <p>英語落語:①「寿限無」落語のネタでは最も知られているネタの一つ。シンプルなお話の構成で分かりやすい。 背景には英語の日本語訳を表示します。 ②「動物園」人がトラの皮を被り、トラの真似をする、という、とても落語らしい、頭の中で想像しながら楽しむ斬。 背景には斬に合わせたイラストが投影されます。 ③「まんじゅうこわい」こちらも落語のネタの中でもポピュラーな斬。オウム返し構造の分かりやすい構成。 背景には斬に合わせたイラストが投影されます。 ※英語落語の内、②と③は鑑賞学年や雰囲気から判断し、どちらかの斬を演じます。</p>
-------------	---

<p>児童・生徒の参加又は体験の形態</p>	<p><ワークショップ> ※別紙「ワークショップ」もご参照ください ○全員で落語の演じ方を体験いたします。英語小ばなしを例として、左右に顔を振りながら一人で複数人の登場人物を演じる方法を体験。 ○英語落語コンテストにて、代表ペアが、二人一組で小ばなしの発表をしていただきます。英語での表現をすることにより、演じ手には身振り手振りを加えたジェスチャーを交えて「相手に伝える」ことを、また聞き手には「英語で笑う」ことを実感してもらいたいと思います。</p> <p><本公演> ※別紙「ワークショップ」もご参照ください 体験コーナーで代表の生徒さんによる落語家の仕草の体験。落語を観た後のプログラムの最後に配しているの、実際に見て楽しんだ落語を演じる難しさを体感してもらいたいと思います。</p> <p><事前> 代表者によるWSでの小ばなしの発表の為、二人一組での小ばなしの実演の練習。(また可能であれば、英語小ばなしの創作)</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>本公演</p>	<p>参加・体験人数目安</p>	<p>14名(小ばなしG.P、体験コーナー合計)</p>
<p>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>※本公演についての詳細は、別紙「本公演」をご参照ください</p> <p>※以下プログラム内、出演者「桂福龍」はスケジュールの都合によって、「ダイアン吉日」に変更になる場合があります。</p> <p>1. 上方落語 桂かい枝 英語落語の前にまずは日本語の落語を一席お楽しみいただき、落語ってどんな芸能なのかをお伝えします。</p> <p>2. 英語落語 桂福龍 落語を英語で笑おう！ネイティブスピーカーの話す英語で実際に笑う＝「英語が理解できた」経験は、子供たちに大きな成功体験となるはず。 ※児童・生徒の状況に応じて、英語と日本語のバランスを調整しながら演じます</p> <p>3. 英語落語 桂かい枝 笑てっ亭の席亭である桂かい枝の二席目は英語落語。福龍さんとは異なる英語落語をお楽しみください。 ※児童・生徒の状況に応じて、英語と日本語のバランスを調整しながら演じます</p> <p>4. 上方落語チャレンジ <体験コーナー> うどんを食べるなどの落語の「仕草」の体験。簡単そうに見えて、演ってみると結構 難しい。みんなで楽しく落語に挑戦しよう。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 70 分</p>		
<p>出演者</p>	<p>出演者:2名 桂かい枝 落語家(桂福龍 または ダイアン吉日)</p>		
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>桂かい枝(兵庫県尼崎市出身):平成6年 五代目桂文枝に入門/平成17年「NHK新人演芸大賞」大賞受賞/落語だけでなく、狂言や文楽との異ジャンルとの共演経験も多く、社会人向けの講座や子供対象のイベントも行うなど古典芸能の普及に精力的に活動している。英語落語の活動は28カ国108都市300公演以上。平成19年文化庁文化交流使としてアメリカを半年間巡業、33都市90公演。現在、多くの小中高の英語教科書で、英語落語が取り上げられている。2007年度 文化庁文化交流使。</p> <p>桂福龍(カナダ出身):本名:デリック・ケイパーズ/カナダ、ウィニペグ市出身/平成13年 来日/平成28年 桂福團治に入門/落語の魅力を世界に発信する為、フィリピンのANA寄席、ラスベガスやサンフランシスコでの繁昌亭、ハワイのアロハ寄席に出演、国内外で活躍している。</p> <p>ダイアン吉日(イギリス出身):本名:ダイアン・オレット/イギリス、リバプール出身/平成2年 来日/平成10年 初舞台/世界中を旅した経験談や、外国人から見た日本文化の素晴らしさを語る講演や、パルーンアーティストとしての一面も持ち、「笑い」で世界を繋ぐ架け橋となるべく国内外で活動中。</p>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 2 名 スタッフ: 2 名 合 計: 4 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 1 t 車 長: 5.3 m 台 数: 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出		
	7:30	7:30~10:45	WS 11:00~11:50 本公演 13:30~15:00	WS、本公 演共に10 分	14:50~16:30	16:30		
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月	7月	8月	9月				
	21日	8日	0日	14日				
	10月	11月	12月	1月				
	23日	19日	19日	15日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	119日			
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出が わかる写真)	(図1) 公演中の様子。							
	(図2) 舞台上で設営するのは高座と袖の飾り、背景のスクリーンとシンプルですが、限られた機材の中で、最大限の効果を出せるように考慮しており、スクリーンには、プログラムの内容に応じて、舞台背景や、字幕、イラストなどが投影されます。							
	(図3) 学校のステージ背景の壁へのプロジェクター投影が可能な場合、そちらに投影することも有ります。							
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし		該当コンテンツ名			
	該当事項がある 場合	権利者名			許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語 】

ワークショップのねらい	<p>ワークショップでは、「落語について」と「英語(世界)について」二つの要素に興味をもってもらい、「落語」や「英語」に対しての抵抗を払拭、本公演で英語落語を鑑賞する下地を築きます。</p> <p>○落語(小ばなし)の演じ方講座:一人で複数人の登場人物を演じる落語の演じ方を実演を交えて説明。実際にみなさんにやっていただきます。</p> <p>○異文化トークコーナー:かい枝(日本人)と福龍(カナダ人)2人の異なる立場から見た日本・世界についての違い。それぞれに異なることや違う点を認め、尊重することを覚える。</p> <p>○英語小ばなしグランプリ:代表ペア数組に高座の上で英語小ばなしを演じていただく。英語で相手に伝えること、英語を聞いて理解し笑うことで、落語や英語への興味を深める。</p> <p>一方、本公演では、ワークショップで芽生えた興味をもった上で、多に楽しんでいただく、鑑賞に特化したプログラムです。上方落語と英語落語の要素をバランス良く配し、鑑賞の中で、公演後も「落語」や「英語」に興味を持ち続けていただくことを目的としたプログラム構成をしております。</p> <p>WSと本公演で内容の性格をしっかりと分けることにより、メリハリが付き、子ども達の中へ印象が残ります。やすいよう、工夫をしております。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	制限無し
ワークショップ実施形態及び内容	<p>※ワークショップについての詳細は、別紙「ワークショップ」をご参照ください</p> <p>出演:2名 [桂かい枝、桂福龍] 公演時間:50分 ※以下プログラム内、出演者「桂福龍」はスケジュールの都合によって、「ダイアン吉日」に変更になる場合があります。</p> <p>1. イントロダクション(小ばなしの演じ方) 桂福龍 『マクラ』とは落語における導入部(=イントロダクション)。笑てっ亭プログラムのマクラとして、英語小ばなしの演じ方のレクチャーからスタート。一人で複数人の登場人物を演じる際の演じ分け方、英語の発音練習や感情の乗せ方、表情の作り方を日本語でレクチャー。</p> <p>2. 異文化トーク 桂かい枝・桂福龍 かい枝(日本人)と福龍(カナダ人)がスライドを使いながら、日本とカナダの違いや、日本に来て驚いた習慣などについてお話しします。異なる立場から見た日本の姿。違う視点だからこそ見えてくるそれぞれの違い。違うからこそお互いを認め合い、尊重する大事さなどを、2人のトークで面白おかしくお伝えします。</p> <p>3. 英語落語コンテスト 桂かい枝・桂福龍 公演日までに練習をしてもらった「小ばなし」を、二人一組ずつの代表ペアに英語で発表、演じていただきます。審査の上、グランプリ(最優秀ペア)を一組決めます。人前でお話することで自信をつけ、表現力の向上を図ります。コンテストを通し落語のイロハ、そして英語を学びます。</p> <p>4. 記念撮影 ワークショップの最後は、グランプリのペアとかい枝、福龍を中心にみんなで記念撮影。写真を撮る時、日本では、「ハイチーズ」と声を掛けますが、カナダでは「ウィスキー」と呼びかけます。歯を見せて全開の笑顔で写真撮影をしましょう。 ※ワークショップの異文化トークコーナーで日本と世界の違いについての話で写真を撮る時の違いについて触れます。それを受けての記念撮影。学校も記念にご撮影ください。</p>		

<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>○当企画において、C区分の特性や、日程をまとめることにより、学校への日期的な負担を減らすことを考慮し、ワークショップと本公演は同日で開催することを想定しております。同日で開催することにより、ワークショップで聞いたことや体験したことが明確な状態のまま本公演を鑑賞することができ、事業内容としてより効果的であると考えます。 ※別日程での開催をご希望の場合対応可能です。</p> <p>○事前学習(代表ペアを決めていただく段取り) ワークショップ当日までに、『英語小ばなし資料』を参考に、授業などで英語小ばなしの練習(レッスン)を行ってください。</p> <p>☆練習の際は、桂かい枝、桂福龍が実演するオリジナル動画をご活用ください。 お送りする資料に記載されているQRコードから、YouTubeで動画をご覧いただけます。 落語をご存知ない先生にも、効率良く、ご指導いただけます。 小学校低学年(1～3年生)／小学校高学年(4～6年生)／中学生向けにそれぞれ小ばなしの例題を作成をしております。 発表していただく小ばなしは例題の中からお選びください。例題を参考にオリジナルの小ばなしを創作していただくのも良いでしょう。二人一組でAとBのキャラクターに分かれ、会話をするように小ばなしを演じます。落語のように1人での発表をすることもできます。 → 最終的に当日出演をするクラス代表のペアをお決めください。</p> <p>※代表ペアの数は、小学校は学年毎／中学校はクラス毎などを基準として、6組を基本設定とさせていただきます。代表ペアの数についてはご希望に応じて増減が可能です。 (伴い、公演時間が変動します)</p> <p>※動画資料は事前の英語小ばなしグランプリの練習用としてご使用いただくと共に、当公演後に落語や英語に興味を持った上で、英語の授業などでご活用いただくことも可能です。</p>
----------------------------	---

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

本事業への応募理由

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語】

下記は弊社(影向舎)の学校公演での公演実績に基づき記述されたものです。
 *弊社は学校の古典芸能で年間600超ステージの実績を有しております。
 (業界では実績一位)

①本事業に対する取り組み姿勢

弊社は全国の高等学校、中学校、小学校において、古典芸能を中心に演劇、音楽と様々な舞台芸術をご紹介して参りました。その公演数は年間500～600に及び、わが国の青少年向けの団体では最大規模と自負しております。

学校公演の目的を「子どもたちが今まで出会うことがなく、これからもなにかの機会がなければ出会うことがないであろうものを紹介する」と考えています。「いかにして子どもたちに楽しんでもらうか」これが弊社クルー(出演者とスタッフ)の仕事、常に子どもたちが大人になった未来に結果を見据えて取り組んでいます。これこそが弊社の揺るぎない姿勢であり、理念です。当然のことながら、これは本事業でも変わることはありません。

従って本事業においては、本公演(鑑賞)で「面白かった」「感動した」とより強く感じて頂く事が最も重要であり、体験や創作は、よりよく鑑賞いただくための要素と考えます。また同じ要素として、子どもたちを感動へ誘う空間演出(本格的な舞台演出)にはこだわります。

本物の、本気の文化芸術を提供いたします。

●専門職分業を結集して最高の公演を行う

【”芸人は笑いのプロフェッショナル” ”スタッフは舞台設営のスペシャリスト”】
 本事業において落語家を始め出演者である寄席芸人が舞台設営を行うことは決してありません。芸人は子どもたちの記憶に残る寄席公演となるよう出演に専念します。スタッフはその出演者のエネルギーが最大限に発揮されるよう熟練の舞台監督の指示の下、体育館に寄席空間を設営します。両者がそれぞれの専門性を分業しつつ、どの学校においても最高の公演になるよう力を合わせます。

② 事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

<段取り面での工夫>

これまでの経験を活かし、初めて開催される学校様でも不安なく公演に臨めるよう、水先案内人を務めます。

○常にお問い合わせにご対応できる体制

平日は常にデスクスタッフが常駐しており、お問い合わせにご対応できる体制を整えております。また公演が近づくと細かなお問い合わせが多くなります。そこで当日担当のスタッフの携帯番号も学校様にお伝えしています。

○専門スタッフによるサポート

弊社の舞台、制作、デザインの専門スタッフが全力でサポートいたします。

○「公演日までのお手引書」をお渡しします

公演までの段取り、当日の注意点なども諸々がこれ一冊に記載されており、打ち合わせ時の記録にもご利用いただけます。

○事前・事後学習用の動画資料を共有いたします

桂かい枝、桂福龍が実演するオリジナル動画の視聴用URLを、事前学習用の資料として共有いたします。落語を演じる際の登場人物を演じ分ける演じ方や、英語の小ばなしを演じている様子が収められています。

本事業に対する
 取り組み姿勢、および
 効果的かつ円滑に実施
 するための工夫

<公演面の工夫>

○効果的なプログラム構成

「ワクワク、ドキドキ」を大切にして様々な演出を施しました。徐々に慣れながら目的(本公演の成果)に向け進んでいくように工夫しました。

事前の小ばなしの実演、練習「小ばなし＝落語に少し興味を持つ」



ワークショップでは事前に練習をした小ばなしの実演をし、またそこでプロからの演技指導を受けることによって、通常の演技と落語の違いを知り、落語に対して興味を深めてもらう。また、小ばなしを英語でも行うことにより、英語への興味を持ってもらう。



「期待」を持って本公演に！



公演後「落語や英語が好きになる」

○映像を駆使した舞台、空間演出

いつも見慣れた体育館が非日常の空間になっているドキドキ……。子ども達にとって、より良い鑑賞体験になる為には、ステージセッティングが重要だと考えております。しかしながら、効率の良い運搬、移動をする為、機材を極力少なくする必要もあり、その限られた条件の中でクオリティを高く保つための工夫として、プロジェクターの映像を駆使することで、大掛かりな舞台セットでなくても変化を与え、見た目の華やかさを損なわずに空間演出を行います。

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語】

①離島・へき地等における公演実績

◆平成26年度 文化芸術による子供の育成事業 「めばえ寄席」《Aブロック》

北海道 別海町立上西春別小学校・北海道 白糠町立白糠中学校・北海道 浦臼町立浦臼小学校・青森県 七戸町立天間西小学校・青森県 西目屋村立西目屋小学校

◆平成27年度 文化芸術による子供の育成事業 「めばえ寄席」《Dブロック》

岐阜県 下呂市立馬瀬小学校・長野県 飯綱町立牟礼西小学校・静岡県 東伊豆町立稲取小学校

◆平成28年度 文化芸術による子供の育成事業 「めばえ寄席」《Cブロック》

山梨県 甲斐市立敷島北小学校

◆平成29年度 文化芸術による子供の育成事業 「めばえ寄席」《Iブロック》

長崎県 壱岐市立箱崎小学校・長崎県 壱岐市立沼津小学校・長崎県 五島市立三井楽小学校・長崎県 壱岐市立石田中学校

◆令和3年度 文化芸術による子供の育成事業 「笑てっ亭」《I/Jブロック》

※C区分公演として

鹿児島県 和泊町立国頭小学校・鹿児島県 和泊町立大城小学校・鹿児島県 和泊町立和泊中学校・宮崎県 小林市立須木中学校・鹿児島県 曾於市立菅牟田小学校・鹿児島県 志布志市立潤ヶ野小学校・鹿児島県 指宿市立西指宿中学校・長崎県 長崎市立長崎中学校・大分県 大分市立宗方小学校・福岡県 豊前市立八屋小学校

◆令和3年度 文化芸術による子供の育成事業 「落語と紙切り」《I/Jブロック》

※C区分公演として

鹿児島県 西之表市立伊関小学校・鹿児島県 南種子町立大川小学校・長崎県 ながさき東そのぎ子どもの村小中学校・佐賀県 伊万里市立牧島小学校・長崎県 壱岐市立鯨伏小学校・長崎県 壱岐市立勝本中学校・鹿児島県 霧島市立牧之原中学校・福岡県 北九州子どもの村小学校

◆令和4年度 文化芸術による子供の育成事業 「笑てっ亭」《Kブロック》

※C区分公演として

岐阜県 揖斐川町立谷汲中学校・岐阜県 大垣市立多良小学校・福井県 勝山市立荒土小学校・京都府 亀岡市立育親中学校・福井県 坂井市立兵庫小学校・愛知県 刈谷市立依佐美中学校・福井県 大野市立和泉中学校・富山県 高岡市立川原小学校・石川県 小松市立松東みどり学園・石川県 川北町立橋小学校

◆令和4年度 文化芸術による子供の育成事業 「落語と紙切り」《Kブロック》

※C区分公演として

三重県 熊野市立明日香中学校・奈良県 御所市立秋津小学校・和歌山県 日高川町立笠松小学校・和歌山県 有田川町立田殿小学校・和歌山県 有田市立港小学校・和歌山県 田辺市立上芳養小学校・和歌山県 日高川町立川原河小学校・和歌山県 日高川町立和佐小学校・大阪府 大阪市立開平小学校・和歌山県 橋本市立学文路小学校・奈良県 上北山村立上北山やまゆり学園

◆令和5年度 文化芸術による子供の育成事業 「めばえ寄席」《Aブロック》

北海道 網走市立第一中学校・北海道 中富良野町立中富良野中学校・北海道 仁木町立仁木中学校・岩手県 宮古市立花輪小学校・岩手県 気仙沼市立九条小学校

◆令和5年度 文化芸術による子供の育成事業 「笑てっ亭」

※C区分公演として

大阪府 寝屋川市立桜小学校・奈良県 御所市立掖上小学校・三重県 熊野市立飛鳥中学校・三重県 津市立美杉中学校・奈良県 吉野町立吉野中学校・大阪府 泉南市立福井小学校・和歌山県 有田川町立金屋中学校・奈良県 御所市立葛小学校・兵庫県 西脇市立芳田小学校・京都府 長岡両市立長法寺小学校

◆令和5年度 文化芸術による子供の育成事業 「落語と紙切り」

※C区分公演として

福島県 伊達市立伊達東小学校・岩手県 可長崎町立西小学校・北海道 釧路市立山花小中学校・北海道 平取養護学校静内ペテカリの國分校・秋田県鹿角市立八幡平中学校・青森県 青森県立弘前第二養護学校・青森県 五所川原市立浦小学校・青森県 むつ市立奥内小学校・茨城県 古河市立三和北中学校・福島県 石川町立石川小学校

C区分で事業を
実施するに当たっての工夫

◆過去3年度 学校公演実績【都道府県順不同】

根室市教育委員会(北海道根室市)・夕張市教育委員会(北海道夕張市)・本別高校(北海道中川郡本別町)・別海高校(北海道野付郡別海町)・豊頃町教育委員会(北海道中川郡豊頃町)・岩内高校(北海道岩内郡岩内町)・七戸高校(青森県上北郡七戸町)・有田工業高校(佐賀県西松浦郡有田町)・東串良高校(鹿児島県肝属郡東串良町)・波佐見高校(長崎県東彼杵郡波佐見町)・築城西高校(福岡県築上郡築上町)・入善高校(富山県下新川郡入善町)・川内高校(鹿児島県薩摩川内市)・相良高校(静岡県牧之原市)・小城高校(佐賀県小城郡小城町)・武雄高校(佐賀県武雄市)・鹿本農業高校(熊本県山鹿市)・香川中央高校(香川県香川郡香川町)・向陽高校(沖縄県島尻郡具志頭村)・小牛田農林高校(宮城県遠田郡美里町)・指宿市立指宿商業高校(鹿児島県指宿市)・南部商業高校(沖縄県島尻郡八重瀬町)・那覇工業高校(沖縄県浦添市)・南大隅高校(鹿児島県肝属郡根占町)・与勝高校(沖縄県うるま市)・出水工業高校(鹿児島県出水市)・長野原高校(群馬県吾妻郡長野原町)・大槌高校(岩手県上閉伊郡大槌町)・蔵王高校(宮城県刈田郡蔵王町)・住田高校(岩手県気仙郡住田町)・赤井川村教育委員会(北海道余市郡赤井川村)・孀恋高校(群馬県吾妻郡孀恋村)・尾瀬高校(群馬県沼田市)・倶知安高校(北海道虻田郡倶知安町)・和気閑谷高校(岡山県和気郡和気町)・七飯高校(北海道亀田郡七飯町)・月形町教育委員会(北海道樺戸郡月形町)・木造高校(青森県つがる市)・伊具高校(宮城県伊具郡丸森町)・大空町教育委員会(北海道網走郡大空町)・桧山北高校(北海道久遠郡せたな町)・加治木工業高校(鹿児島県始良郡加治木町)・石巻北高校飯野川校(宮城県石巻市)・杵島商業高校(佐賀県杵島郡大町町)・郡上高校(岐阜県郡上市)・田村高校(福島県田村郡三春町)・川内商工高校(鹿児島県薩摩川内市)・鹿屋中央高校(鹿児島県鹿屋市)・芦北高校(熊本県葦北郡芦北町)・玉東中(熊本県玉名郡玉東町)・静内高校(北海道日高郡ひだか町)・知念高校(沖縄県島尻郡与那原町)・名護商工高校(沖縄県名護市)・美来工科高校(沖縄県沖縄市)・種子島高校(鹿児島県西之表島市)・読谷高校(沖縄県中頭郡読谷村)・高松東高校(香川県木田郡三木町)・安房拓心高校(千葉県安房郡和田町)・皆野高校(埼玉県秩父郡皆野町)・香春町教育委員会(福岡県田川郡香春町)・小樽明峰高校(北海道小樽市)・佐世保工業高校(長崎県佐世保市)・中部農林高校(沖縄県具志川市)・佐世保商業高校(長崎県佐世保市)・湧別町教育委員会(北海道湧別町)・嘉手納高校(沖縄県中頭郡嘉手納町)

②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、
小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

寄席演芸は、お客様と芸人一人、座布団一枚で成立する機動力の高い芸能です。
C区分に申請するにあたり、そのフットワークの良さを活かしつつ、より落語の魅力を
子供たちに体感してもらうべく番組構成・舞台設営を行います。笑いは、日本のどこでも
隔てがありません。津々浦々に落語の楽しさをお届けします。

③C区分応募における、費用面の工夫

○機材の運搬、スタッフの移動をワゴン車1台に集約
離島などの公演では、すべての道具を宅配できるようにしています。

○限られた機材の中でステージセッティングを保つための工夫
高座とスクリーンのシンプルな舞台設定ですが、プロジェクターの映像を
駆使することで、
大掛かりな舞台セットでなくても変化を与えることが可能となり、見た目の華やかさを
損なわずに空間演出ができます。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語】

別添「英語落語・実際の反応」
Hello!
Laugh & Peace!
上方落語と英語落語

素晴らしい日本の
笑いの原点、
上方落語の世界

笑てっ亭

わろう てい

落語を
英語で笑う!
笑いは世界の共通語

「英語落語」への不安と実際の反応

「英語落語」に対して、小学校低学年から理解ができるのか、楽しめるのかという声がありました。
→ご安心ください。笑てっ亭では直観的に英語へ興味を持ち、楽しんでもらう為、様々な工夫をしております。

- ◎「英語落語」を演者が演じる際、子どもたちの反応を加味して晰の中で使う英語と日本語のバランスを調整。
- ◎「英語」に親しみ、「英語」に対しての抵抗を払拭する為のプログラム構成。
- ◎プロジェクターを使い字幕やイラストを投影するなど視覚的な補助。

ここでは、実際に鑑賞された児童・生徒さん方からの感想文の中から一部をご紹介します。

寄せられた感想文

○小学1年生
ふくりゅうさんのじゅげむのながい名まえのやつがおもしろかったです。たのしかったです。

○小学2年生
わたしが一番おもしろかったのは、ふくりゅうさんの「じゅげむ」です。あんなにわらったのは、ひさしぶりでした。また見たいです。

○小学3年生
今日らく語を見せていただきありがとうございます。とってもらえました。えい語のらく語も日本語のらく語もとってもおもしろかったです。そのおかげでらく語のことがすきになりました。ありがとうございました。

○小学4年生
英語の落語は私の苦手な英語でも想像力でどんなことかを想像できて、とてもたのしかったです。

○小学5年生
英語の落語も日本語で通訳してくださったので、とてもききやすかったし、お話が分かりました。落語も初めて見たけど、おもしろかったし、いい体験になりました。

○小学6年生
私が一番心に残ったのは、動物園の話です。最後にライオンにもマネージャーが入っていたのがおもしろかったです。私はあまり落語を聞いたことがなかったので、もっと聞いてみたいと思いました。

○中学1年生
落語を見るのは、初めてであまりイメージがなかったけど、楽しめて良かったです。英語落語は、「私が英語苦手だし、意味が分かるかな?」と思ったけど、字幕がついてて、英語の勉強になるので、一石二鳥だなと思いました。

○中学2年生
初めて生の落語を見ました。本当にいない人があるように見えて、感動しました。英語落語も簡単な英語の所は意味が分かり、楽しめました。他国でも日本の落語が見られて多くの人が笑っていると思うとすごく嬉しいです。英語も発音が本格的でびっくりしました。

○中学3年生
今回、上方落語と英語落語を鑑賞して、プロの方の落語はすごいなと思いました。身振り手振りだけで一つの世界観を見せるのはとてもすごいと思いました。また、英語落語は英語が難しい人でも、分かりやすくプロジェクターなどを使って面白かったです。こんなにもおもしろい日本の文化があると知れてよかったです。海外にもっと広まったらいいなと思いました!

を桂全
聞福て
いの龍
英語
での英
語で話
落す、
語

企画のねらい

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語】

別添「本公演」

本公演プログラム (時間：70分)



ここは大阪、繁華街の寄席『笑てっ亭』
大いに笑っててください



英語落語の前にまずは落語を一席お楽しみください

落語 桂かい枝 『平林』『初天神』など

※落語のネタは鑑賞対象の学年や雰囲気などで決定します

プログラムの最初にまずは分かりやすい落語を一席お楽しみいただき、落語ってどんな芸能なのかをお伝えます。

一人何人も演じ分け、会話が話が進んでいく落語。まずは純粋に落語が楽しいということを知ってください。



落語の解説の要素をマクラに入れていきます (マクラで落語解説)

落語の本題に入る前の部分を「マクラ」といい、お客様へ小ネタや時事ネタを振り、その日のお客様の反応を確かめます。笑てっ亭では、このマクラの部分で、はじめて落語に触れる子どもたちに「落語」や「上方落語」の特徴や、扇子の手ぬぐいの使い分けなどについて、面白い話の中でご説明いたします。



英語で笑おう！

英語落語 桂福龍 『寿限無』

英語 90%

英語落語メーター

日本語 10%

有名な落語の噺「寿限無」を、ネイティブスピーカーである、カナダ出身の蘭家・桂福龍が英語で演じます。

※英語と日本語のバランスを調整しながら演じます

ネイティブスピーカーの話す英語で笑う＝「英語が理解できた」経験は、大きな成功体験となるはず。



英語の割合が多くて心配 → 背景に字幕を投影いたします

桂福龍が寿限無を英語で演じる背景には、日本語の字幕を投影いたしますので、訳を確認しながら楽しめます。



噺に合わせ、イラストを投影。耳と目で『英語』を楽しめ！

英語落語 桂かい枝 『動物園』『饅頭こねい』

英語 60%

英語落語メーター

日本語 40%

トリは上方落語界の雄、桂かい枝の一席。今回は英語落語をお楽しみ。

※英語と日本語のバランスを調整しながら演じます

いよいよ『笑てっ亭』の席亭である桂かい枝の登場。英語落語に合わせたイメージイラストが理解を助けます。



英語で落語が楽しめるかも心配 → 背景にイラストを投影します

桂かい枝が英語落語を演じる背景には、この公演の為に作成したオリジナルイラストを投影。視覚的にも落語を楽しめます。



思ったよりも難しい！？ふんぞり楽しく落語に挑戦

上方落語チャレンジ <体験コーナー>

うどんを食べるなどの「仕草」体験や、上下（かみしも）を振って（左右を見て）演じ分けながらの「小ばなし」体験。華やかな上方落語を肌で感じてください。

簡単そうに見えて、演ってみると結構難しい落語。体験をとおして「凄い！」と感じてもらえれば。



本公演演目



別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.3

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語】



別添「ワークショップ」 ワークショッププログラム

(時間：50分)

ワークショップは、『落語』『小ばなし』を通じて、『英語(世界)』に目を向け、興味をもってもらう為の入り口となるようなプログラム構成となっております。

まずは開演のご挨拶。小ばなしのレクチャーからスタート

1 イントロダクション 桂福龍

笑てっ亭の"マクラ"として、桂福龍が小ばなしについて指導をします。英語の発音練習やジェスチャーを交えた感情表現などをレクチャーします。ここでのお話がワークショップ後半に実施する「小ばなしグランプリ」に繋がります。

- 落語も小ばなしも一人で複数の登場人物を演じ分けず。一人で演じる際の演じ分け方、セリフの表現の方法などをレクチャー。



Where is my hat? 僕の帽子、どこにある? It's on your head. 帽子がここにある。 Oh! Oh! Oh!

楽しみながら知る、世界の中のニッポン

2 異文化トーク 桂かい枝&桂福龍

桂かい枝(日本人)と桂福龍(カナダ人)がスライドを使いながら、日本とカナダの違いや、日本に来て驚いた習慣などについてお話しします。

- 異なる立場から見た日本の姿、違う立場だからこそ見えてくる違い。違うからこそ認め、尊重する大事さなどをお伝えします。



英語で落語(小ばなし)を演じてみよう

3 英語落語コンテスト

公演日までに練習をしてもらった「小ばなし」を、2人1組みずつの代表ペアに、英語で発表していただきます。どのペアが一番上手に演じることができるか。審査員は桂かい枝、桂福龍。そして『特別審査員』は学校の先生。

- 人前でお話することで自身をつけていただき、そして表現力の向上を図ります。コンテストを通し落語のイロハ、そして英語を学びます。

発表の形式(2人1組で小噺を発表)

代表ペアが二人一組でAとBのキャラクターに分かれて発表【日常会話(お芝居)として演じてください】

発表の際のポイント

- 感情を豊かに表現(うれしい、かなしい、驚き、痛いなど)
- 大きくボディランゲージなどの仕草を使い、よりリアルに表現

全クラスの代表ペアの発表を行い、その中からグランプリを決定!!

【審査員】桂かい枝/桂福龍/校長先生 or 英語の先生(特別審査員として)

【落語＝日常会話】

落語は登場人物間の何気ない会話で進行していきます。落語の基礎である小ばなしも同じです。AとBの2人のキャラクターの短い会話で生まれる笑いのショートストーリーを演じて、落語を体験してみましょう。

事前学習用として「英語小ばなし」についての資料をお送りします。演じ方の見本としての動画をURLから閲覧していただけます。




最後はみんなで記念写真。合言葉は『ウイスキー』!!

4 記念撮影

グランプリの最優秀ペア発表後、みんなで記念写真を撮ります。写真を撮る時、日本では「ハイチーズ」と声を掛けますが、カナダでは「ウイスキー」と呼びかけます。歯を見せて全開の笑顔で写真撮影をしましょう。

- 異文化トークコーナーで日本と世界の違いについての話で写真を撮る時の違いについて振れます。それを受けての記念撮影。学校も記念にご撮影ください。



ワークショップ
実施形態及び内容

